

主な内容

- 10月1日国勢調査
- 下水道促進デー
- 山口市の戦後50年⑥

●発行/山口市役所 〒753 山口市亀山町2-1 ☎0839-22-4111 ●編集/企画財政部広報広聴課 ●印刷/森重印刷株式会社

●市民憲章 昭和46年9月1日制定

- 1 自然を大切に、美しい環境を守りましょう。
- 1 スポーツに親しみ、健康なからだをつくりましょう。
- 1 互いに助け合い、生活を豊かにしましょう。
- 1 きまりを尊び、良い風習を育てましょう。
- 1 郷土を知り、文化財の愛護につとめましょう。



わたしもつけたよー夏休みの思い出ー

8月6・7日「山口七夕ちょうちんまつり」が行われました。

ひともし頃の中市コミュニティーセンターNac前では、この伝統あるお祭りにもっと親しんでもらおうと、山口市商店街連合会の主催による「ちょうちんの灯入れ」を親子が体験。

子どもたちの手で灯された紅ちょうちんが、山口の夏の夜を彩りました。

9/1

1995年 No.1155

■市報やまぐちは再生紙を使用しています。



市の木イチョウ



市の花キク



市の花木キンモクセイ

10月1日

21世紀を考える 土台です

国勢調査



センサスくん

10月1日、全国一斉に国勢調査が行われます。

赤ちゃんからお年寄りまで日本に住んでいるすべての方が対象です。

調査の結果は、国や都道府県・市区町村が福祉や雇用、住宅対策など、これからの行政を考えていくための基礎資料となります。

9月下旬から調査員が世帯ごとに調査票を配布します。時間はあまりおかけしませんので、皆さんのご協力をよろしく願います。



十六回目の国勢調査

国勢調査は、大正九年から五年ごとに行われ、今回は十六回目となります。

日本に住んでいるすべての方が対象となり、全国で約一億二千五百万人、山口市では十三万七千人に及ぶと見込まれます。もちろんあなたも、あなたのご家族も対象です。

簡単です、安心です、調査内容

九月下旬から調査員がお宅にお伺いし、世帯ごとに調査票を配布します。

調査の項目は全部で十七。ご家族全員の氏名、出生の年月、就業状況などです。

旅行などで一時留守にしている方、長期滞在している方、生まれたばかりの赤ちゃんも含まれます。また、下宿している方などは、一人一人ご記入ください。

記入していただいた内容を、

八月二十日、水野本部長をはじめとする国勢調査山口市実施本部、県実施本部により中市商店街で行われた街頭PR。

ほかにもしたり、統計以外の目的に使用することは法律で固く禁じられています。どうぞ安心して、ご記入ください。

調査票は後日、調査員が集めに伺います。

暮らしに生かされます、調査結果

国勢調査は、法律に基づいて国が行う調査です。目的は、わが国の人口を正確に把握するほか、急ピッチで進行する高齢化、国際化の状況などや世帯の構成、住宅の状況など、日本の現在の姿を正確に知ることにあります。

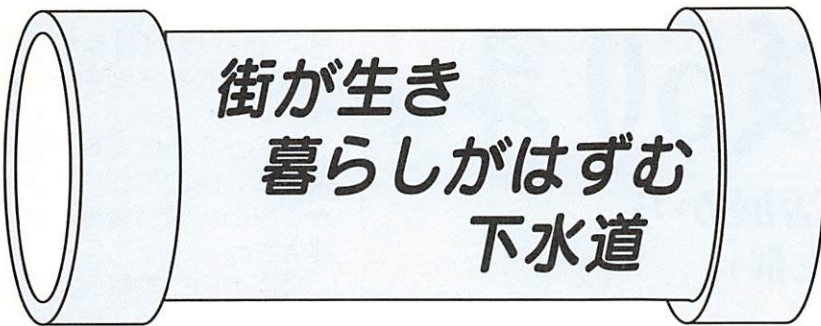
結果は、国や県はもとより、山口市においても、今を知り、これからの発展を考えるうえで大切な資料となります。

周防大橋花火大会に合わせて、国勢調査の宣伝用うちわを配布。



の
こよみ

- 1日 山口市健康増進老人福祉大会（市民会館）
- 3日 市民体育大会（維新公園ほか）
- 6日 市長を囲む会（大内公民館）
- 8日 天皇賜杯第五十回記念 全日本軟式野球大会開会式（西京スタジアム）
- 9日 天皇賜杯第五十回記念 全日本軟式野球大会（西京スタジアムほか）
- 13日 ▼下水道まつり（市浄水センター）
- 10日 ふしの川漁協まつり（樺野川漁協平川養魚場）
- 11日 市民大学講座②「日高義樹」（市民会館）
- 18日 市民大学講座③「長田渚左」（市民会館）
- 19日 山口市シルバー人材センター入会説明会（市ポランテアセンター）
- 22日 山口市美術展覧会（C・S赤れんが／30日）
- 23日 星空コンサート（野外音楽堂）
- 27日 市民大学講座④「林真理子」（市民会館）
- 28日 市長を囲む会（陶公民館）
- 29日 秋季県体高校野球大会地区予選（西京スタジアム／10月2日）



街が生き 暮らしがはずむ 下水道

市では、美しい自然環境を守り、快適な生活環境を実現するため、「公共下水道事業」「農業集落排水事業」「合併処理浄化槽設置整備事業」を三本柱として、下排水の対策に積極的に取り組んでいます。

公共下水道の整備が完了した区域の皆さんには、水洗化など排水設備の設置をお願いします。

また、利用されている方は下水道管がゴミなどで詰まらないようお願いいたします。

水洗化のご案内

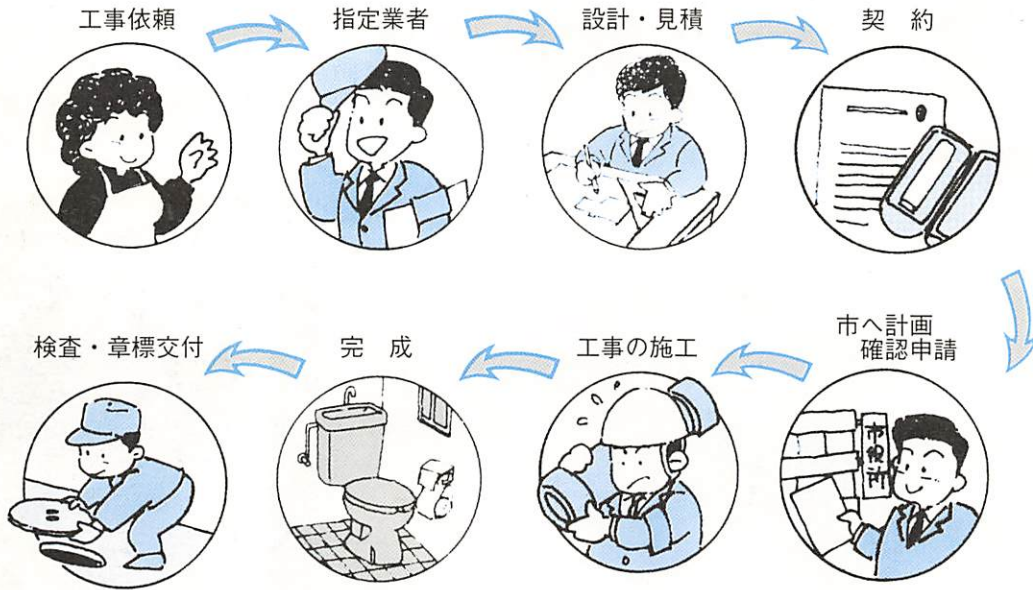
公共下水道が整備され、使用ができるようになります。市から各ご家庭へ直接、接続のお知らせをします。

処理が可能になった区域内の家庭では、汚水を公共下水道へ直接流すための「排水設備」をつくっていただくこととなります。

排水設備の工事（水洗化等）をするときは、必ず市が指定した「指定業者」へお申し込みください。「指定業者」は基準に合った完全な設備をつくるために必要な技術を習得しているなど、安心して工事をまかせることができるように市が指定したものです。また、市への必要書類の作成、届け出などの手続きをお手伝いします。（手順は下図のとおり）

水洗化の工事費については、融資制度があります。また、

排水設備工事の手順



私道に共同で排水設備を設置する場合にも、助成金制度などがあります。詳しくは下水道管理課（☎22-4111 内線2712）へお問い合わせください。

広がる下水道網

市は、昭和四十八年に事業認可を受け、公共下水道の整備に着手。昭和五十六年十二月から湯田温泉街を中心とする

地域の汚水の処理を開始しました。

現在、下水道の整備は市街地の中心部をほぼ完了し、周辺地域に重点を移しています。

今年度は、宮野、吉敷、朝倉、大内御堀、平川地区を主に整備中です。平成七年三月末までの整備状況は下表のとおりとなっています。

全国下水道促進デー

九月十日を中心とする一週間を「全国下水道促進デー」として、下水道の普及とその十分な活用を促進する運動が全国的に展開されます。

第二回山口市下水道まつり

九月九日には、「第二回山口市下水道まつり」を浄水センターで開催。楽しいイベントをいろいろ準備しています。

山口市公共下水道整備状況

行政区域内人口 (a)	131,189人
処理区域内人口 (b)	40,416人
水洗化人口 (c)	34,431人
下水道普及率 (b/a)	30.8%
全国平均	約52%
山口県平均	37.1%
水洗化率 (c/b)	85.2%
公共下水道認可区域 (d)	1,375ha
処理面積 (e)	852ha
処理面積整備率 (e/d)	62%

下水道の正しい使い方

下水道管が詰まると、汚水があふれ出すなど正常な排水ができなくなります。

ご飯粒や野菜くず、油などは排水口から流さないようにしましょう。デイスポージャー（粉碎機）で砕いた生ゴミも詰まる原因となります。油は、下水道管の中で固まりますので、炒めものの油などは紙で拭き、天ぷら油は固形物にし、燃えるゴミとして出すとよいでしょう。阻集機（油を集める装置）を設置されている方は適正な維持管理をお願いします。トイレでは、トイレレットペーパー以外の紙は使わな



下水道を正しく大切に使うことにより私たちのまちはより快適で美しくなります。

市の戦後50年 6

戦中戦後生活展から (山口県主催)

戦後50周年を記念して、8月17日から31日まで県政資料館で行われた戦中戦後生活展。

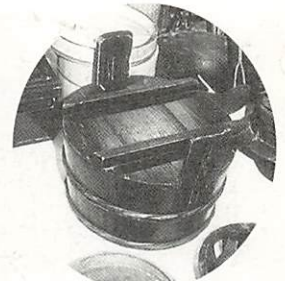
県民から幅広く資料展示を募集し、山口市からも多くの方が思い出深い貴重な品々を提供されました。

担当の山口県県民生活課藤川智課長さんは「戦後五十年という節目の年に、歴史を振り返りながら平和の尊さを改めて認識したいと思います。」

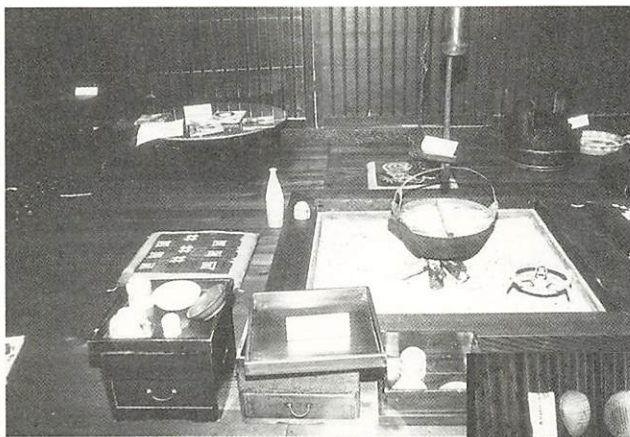
この展示会を、家庭や職場で戦争と平和を語り合う契機にさせていただけたとしたら幸いです」と話されています。

夏休み期間中ということもあってか、会場にはお子さんやお孫さんに熱心に説明されているお客さんが多く見られました。

今回の「山口市の戦後50年」特集は、この生活展に展示された貴重な資料の内の幾つかと、会場に来られた山口市民の方の感想をまとめてお伝えします。



昭和20年前後の台所



▲手前から箱膳、いろいろ左奥にちやぶ台



知恵を使った生活をしていました・
須山京子さん（40・大内御堀）
香織さん（16）
奈穂美さん（15）
「自分自身が八人家族の農家の出ですから、農家の台所の展示を見て、このとおりだったと感激しました。苦労したことより楽しかったことがよみがえってくるんです。今は電気製品などが普及し

て何でも簡単にできるようになり、既成品もたくさんありますが、昔の人は知恵を使っ
て、工夫した生活していたと思います。
自分の町の五十年前はこうだったと知っていてほしいから子供と一緒に来ました。」
農家の台所も「あんなところで暮らしてみたい」とお子さんたちには新鮮に映ったようです。



会場で「すいとん」を試食された方も「塩だけの味付けだった」、「野菜がないのでイモの葉や茎を入れた」などそれぞれ「すいとん」を思い出していらっしやいました。

何でもいいから、おなか一杯食べてみたかった五十年前を思い出しています。
今回は当時に比べるとそれほどはぜいたくな「すいとん」です。ダシはとりませんが、味噌で、キャベツ、タマネギ、ジャガイモなど野菜がたくさん入っていますから、おいしすぎるんです。
「県からの依頼で、戦時下の食生活体験コーナーの「すいとん」と麦飯を作ることになりました。昔とったきねづかです。
何でもいいから、おなか一杯食べてみたかった五十年前を思い出しています。
今回は当時に比べるとそれほどはぜいたくな「すいとん」です。ダシはとりませんが、味噌で、キャベツ、タマネギ、ジャガイモなど野菜がたくさん入っていますから、おいしすぎるんです。
会場で「すいとん」を試食された方も「塩だけの味付けだった」、「野菜がないのでイモの葉や茎を入れた」などそれぞれ「すいとん」を思い出していらっしやいました。

山口市老人クラブ連合会 婦人部の皆さん



山口

物が捨てられませんか・・・藤村菊子さん(72・白石)

「終戦前は、防府の華浦小学校に勤務していました。防府の航空部隊から出撃される兵隊さんの壮行会を学校の講堂で行い、翌日戦地へ飛び立っていかれるのです。学校の上空で三回くらい旋回されるのですが、翼をゆらして、それが手を振ってサヨナラをしているみたいでした。いまでもその光景を良く覚えていています。」

戦後といえば、物が不足していたことが思い出されます。さびしい思い出です。

町に出て、行列ができていくと、とにかく並んでみるんです。へおからへの配給とか、近所の人と分け合ったりしました。

そんな時代を過ごしてきましたから、いまだに物が捨てられないんです。

日本にとって痛い体験でしたが、当時を生き延びてきた自分ですら記憶が薄らいでいきます。

子供たちに伝えたい・・・梅本雅之さん(39・平井)となつみさん(8)文範君(5)

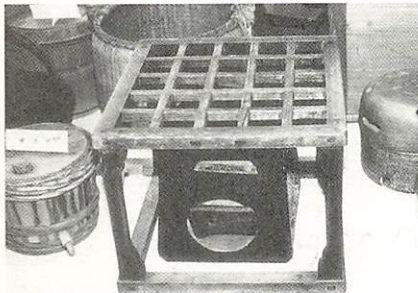
「父は中国に出征しました。母は軍需工場に学徒動員されていました。戦時中の物を見ると凄惨な感じがします。戦後の展示物には、私の年代でも懐かしい物がたくさんあります。入口の自動車の中に父が乗っていたのと同じ車があり、家族で出かけたことなんかを思い出していました。子供が、夏休みでおいちやん・おばあちゃんの所へ行って昔の話も聞いてきたみたいです。展示品を見ながら、こんな生活をしていただんだよと話していたところでした。」

よく生きてきたなあ・・・吉村孝一さん(65・泉都町)

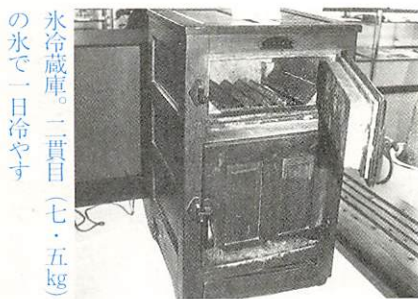
「疎開先の津和野から益田に学徒動員に行っていました。



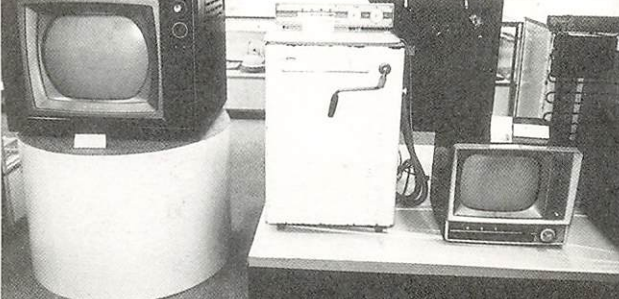
色鮮やかなアイスキャンデーが入っていた



やぐらこたつ。炭を入れて暖をとる



氷冷蔵庫。二貫目(七・五kg)の水で一日冷やす



右から白黒テレビ、ローラー式洗濯機、カラーテレビ



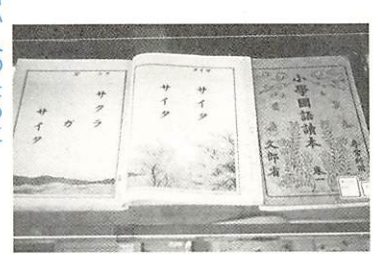
召集令状。その色から赤紙といわれた



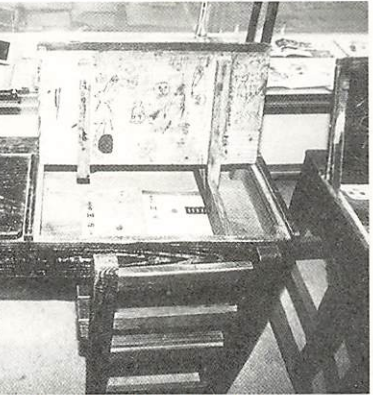
空襲による火災に備えての消火用砂



国民服など戦時中の服装



尋常小学校時代の教科書



小学校の机。らく書きの思い出がなつかしい

山口市歴史民俗資料館
「戦争とくらし」
特設コーナー展示中

- ・ 期間 9月17日まで
- ・ 午前9時～午後5時(入館午後4時半まで)
- ・ 月曜日は休館です
- ・ 入館料 一般 100円 小中学生 50円

振り返つてみるとへよく生きてきたなあ」というのが実感です。

物資不足で家財道具などもない時代で、石臼とか、一つ一つの展示品に思い出があります。

子供も、家においてあった父の海軍の制服など見てたからか、戦争に関する本を読んだり関心があるようです。

戦後の体験は折にふれ伝えたいと思っています。

奥さんの昭江さん(62)

「私の父は山口の四十二連隊におりました。日中戦争にいくとき、山口駅で、かっぱう着の婦人会の人たちに見送られて出征する光景ははっきり覚えています。」

わすか五十年前のことが忘れがちです。若い人に、苦労した話とか、しっかり聞いてもらって理解してほしいんですが、大事なことだと思つて何回も話すとへまたその話かへになってしまいます。

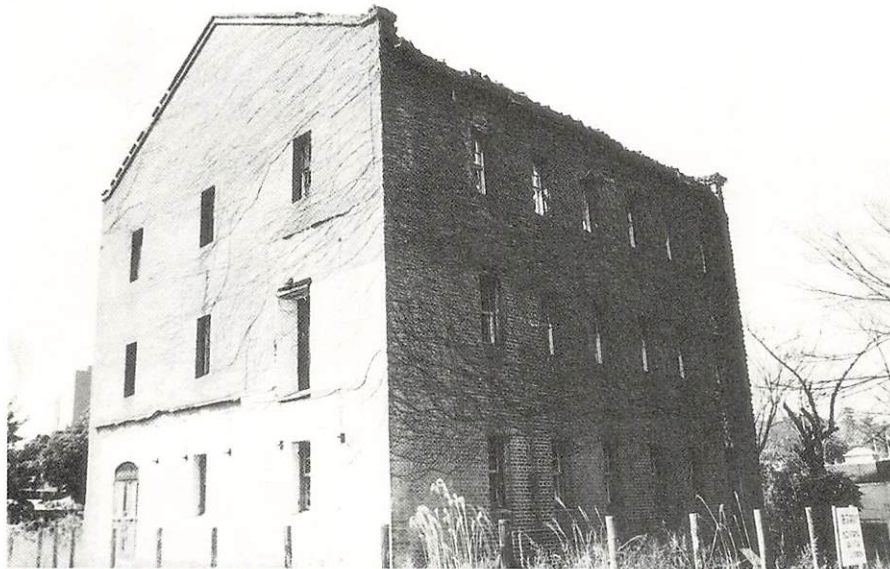
この展示会を見て思ったのですが、いつもこういう物が見られるように常設を考えてほしいですね。特に若い人のためにも、話だけでなく身近にいつもこういう展示があることは大切だと思います。」

市報

やまぐち

山口市の戦後

にみる(昭和56年～平成7年)



旧県立図書館書庫は市民による保存再生の声をきっかけに、平成4年クリエイティブ・スペース赤れんがとしてよみがえった

山口市の戦後の主な出来事 (昭和56年～平成7年)

昭和56年

- 4月・市歴史民俗資料館開館
- 6月・嘉川に斎場「浄明苑」落成
- 7月・県児童センター開館
- 10月・山口県中部環境センター竣工
- 12月・公共下水道通水式

昭和57年

- 4月・山口市姉妹都市市民の会結成
- 8月・国道262号大内宮野バイパス完成
- 9月・国道9号山口バイパス県庁前一本崎間開通
- 12月・K D D 山口衛星通信所パラボラ館完成

昭和58年

- 1月・県教育会館完成
- 3月・一の坂ダム完工
・中国自動車道全面開通
- 4月・21世紀の森オープン
- 8月・全国高等学校総合文化祭開催

昭和59年

- 3月・宇部テクノポリス地域指定
- 4月・鑄銭司郷土館開館
・県スポーツ文化センター完成
- 6月・社会福祉センターしらさぎ会館開館
・新県庁舎完成
- 10月・山口ふれあい館開館

昭和60年

- 3月・山口地区テレトピア地域指定
- 6月・集中豪雨、吉敷の野口堤決壊
- 9月・中国山東省済南市と友好都市提携
- 11月・山口市シルバー人材センター発足
- 12月・エフエム山口開局

昭和61年

- 4月・県立西京高校開校
・県流通センターオープン
- 7月・湯田温泉街に湯の香通り完成
- 8月・全国高等学校総合体育大会開催

昭和62年

- 3月・山口市保健センター・休日夜間急病診療所竣工
- 4月・市長に小林兼年氏当選
- 5月・県婦人教育文化会館・山口市働く婦人の家オープン
- 10月・洞春寺山門落慶法要が行われる
- 12月・石津橋開通
・山陽自動車道(防府IC-山口市JCT間)部分開通

・ 堀市長バス通勤で
市営バス利用をPR
「週一回のバス通勤の体験を通じて、市営バスが抱えている問題を実感として受け止め、市民の足としての市営バスを守る努力をしたい」と市長は話しています。
(五十六年七月号)

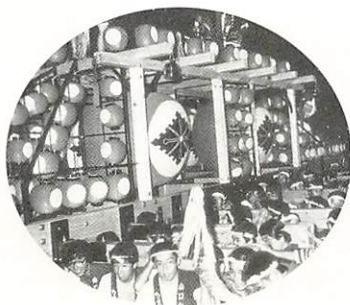
・ 子や孫と同居したい
健康こそ老後の幸せ
七月完成した「潮寿荘」でお年寄りが語る
高齢化社会の中、敬老の日になみなみ、お年寄りに語り合っていたきました。
昔は祇園祭に八キロの道程を歩いて出ていました。帰りも夜の十二時頃に歩いて帰る。眠りながら歩いて田んぼに落ちたこともありました。
・ 厳しい中にも自由な楽しさがあった。先生に頭を叩かれても反感を持たなかった。
・ 生き甲斐は自分で作るもの。

孫が生まれたら、この子が幼稚園に上がるまで、次は小学校に上がるまで生きようと目標を持つことが大切です。
・ これからは「若い老人」が増えます。働く意欲の向上のために働く場所を確保して欲しいと思います。
・ 老人福祉は充実してきましたが、このままでは若者に負担がかかりすぎます。
(五十六年九月号)

・ おいしいナーごはん給食
終戦後、食糧事情は極端に悪く、学童の栄養状態もかつてない最悪の状態の中で、山口市では昭和二十二年から学校給食を始めました。最初週一・二回程度が三十八年から完全給食になり、また牛乳給食も始まりました。昨年から始まった米飯給食について現場の声を聞いてみました。
「カレーライスや親子どんぶりなど、とても楽しみです。嫌いだったニンジンやコイモも食べられるようになりました。」
「米飯給食は米離れしつつある今の子供たちの食生活改善に大きな役割を果たしていると思います。」
給食調理員さん
「和食献立が増え、根菜類や、魚、緑黄野菜、海藻、大豆製品の使用も増えていきます」
栄養職員さん
(五十七年三月号)



21世紀の森オープン。萩往還の歩きはじめ(五十八年)



七夕ちょうちん山笠初巡行(五十九年)



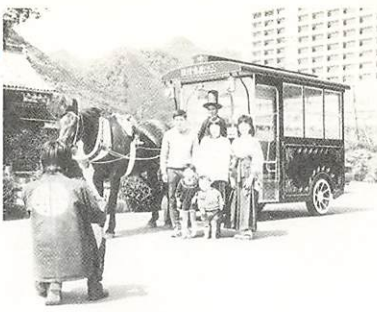
県庁舎竣工。二万人がちょうちんパレードで祝賀(五十九年)



山口の夜を演出したサビエル記念聖堂のライトアップ（二年）



「のびのび山口いで湯と歴史の郷」キャンペーンで山口鹿鳴館号を運行（六十年）
市営バスのイメージアップに大内小児童に描いてもらった絵画バス（平成元年）



昭和63年

- 2月・荒谷ダム完成
- 8月・山口大学構内に国際交流会館完成
- 9月・市役所前庭に核兵器廃絶平和都市宣言碑が完成
 - ・萩町に宇宙通信（株）衛星管制局完成
- 12月・山口市農協が佐山農協と合併

昭和64年・平成元年

- 3月・市議会で「高度情報通信都市宣言」
- 4月・山口・小郡消防組合が発足
- 6月・第4次山口市総合計画まとまる
- 7月・日本国際通信（株）の上山口衛星通信局が完成
- 11月・市内の公認マラソンコース初の大会「第1回女子駅伝」が開催される

平成2年

- 3月・小林兼年市長が急逝
- ・山口テクノパーク第1期分譲開始
- 4月・ニューメディアプラザ山口完成
- ・山口南総合センターオープン
- ・第20代山口市長に佐内正治氏就任
- 12月・山口市斎場完成

平成3年

- 3月・神田一般廃棄物最終処分場が完成
- 5月・山口ふるさと伝承総合センター完成
- 6月・資源回収「つくし推進事業」はじまる
- 9月・サビエル記念聖堂焼失
- ・台風19号来襲、山口市でも大被害
- ・自治体衛星通信機構山口管制局完成

平成4年

- 3月・県下2番目の長大橋「周防大橋」開通
- 4月・市初の在宅介護支援センターが「よしき悠々苑」に完成
- 5月・市内初の史跡公園朝田墳墓群オープン
- ・クリエイティブ・スペース赤れんがオープン

平成5年

- 9月・中原中也記念館公開設計競技で宮崎浩さんの作品が最優秀賞に決定
- ・毎月第2土曜日を休業日とする学校週5日制がスタート

平成6年

- 2月・中原本也記念館オープン
- 3月・山口市老人保健福祉計画を策定
- 11月・山口ファミリー・サポート・センター業務開始

平成7年

- 2月・国道9号山口バイパス区間全線開通
- ・小郡町に合併申入れ
- ・山口勤労者総合福祉センター「サンフレッシュ山口」オープン
- 3月・県セミナーパーク完成
- 5月・山口市スポーツの森・西京スタジアムオープン

一人当りの年間米消費量は、三十七年度の百十八kgをピークに六十一年度は七十三kgとなっています。米消費の低下傾向で、作付面積を調整する「水田農業確立対策」が行われています。

「ご飯といろいろなおかず」自然に栄養のバランスがとれる日本型食生活のよさを見直しましょう。米はわが国の気候風土に適し、自給できる唯一の食糧です。

新しい風 生涯学習
人々が自発的な意志に基づき、自分自身を高めて育て、生き甲斐のある充実した人生を送るために生涯にわたって行う学習を生涯学習といいます。情報化、国際化、科学技術の進展など社会状況の変化は激しく、また人生八十年時代といわれる長寿社会。人々のライフスタイルは大きく変わってきています。

昨年八月、山口市社会教育委員会から、山口市にお

る生涯学習の推進について提言がなされ、このたび策定した第四次山口市総合計画においても大きな柱の一つとして「健全で心豊かな人づくり」を掲げ、生涯学習の推進をうたっています。

（平成二年一月号）
・名田島で県下初の田植え
コシヒカリの極早期団地をつくり早期新米として有利に販売しようと、新開作西で県下初の田植えが四月三日行われました。今年が初の試みで、八月中旬の収穫予定です。

（二年五月号）
・なつかしい祇園囃子
コンチキチン、コンチキチンー昔懐かしい祇園囃子が戻ってきました。祇園祭の二日目、新しく作られた「菊水鉦」にユカタ姿の囃子手十六人が乗り込み、立田、月、日和神楽の三曲を披露。京都より指導を受けながら練習を重ねてきただけあって息もピッタリ。

（三年八月号）
・市議会臨時議会
台風十九号の災害復旧費四億二千七百万円を補正

最大瞬間風速五十三・一メートルと山口測候所観測史上最高値を記録し、市内全域に甚大な被害を与えた台風十九号。被害状況は現在も実地調査中ですが、強風で五十人の方が負傷。住宅被害も全壊二棟、半壊八十三棟、一部破損六千五百五十九棟。また、高潮による床上・床下浸水も一棟を超えました。農林、商工、水産関係をはじめ、文教関係など市の施設にも大きな被害が出ています。

九月二十七日、十七時半頃市内全域で停電となり、断水も長期化、完全復旧は十月四日となって市民生活に大きな影響が出ました。

（三年十一月号）

（六年九月号）

・外国産米の緊急輸入
昨年の冷夏・長雨は、戦後最低水準とまでいわれるコメ凶作をもたらしました。主食米が不足し、アメリカ、タイ、中国、オーストラリアから米が緊急輸入されます。三月からは政府米は外国産米のブレンド。自主流通米も国産米の絶対量が不足しているため国産単品販売では限られた量の供給しかできません。いづれにしても、六年産の国産米が流通しはじめるまで外国産米を食卓に取り入れざるを得ないこととなります。

（六年三月号）
・94やまぐちの夏
山口測候所観測以来（昭和四十一年）の記録

●最高気温 三十八・四度（七月二十四日）
●平均気温 二十九・〇度（七月）
●日照時間 二四八・四時間（七月）

（六年九月号）

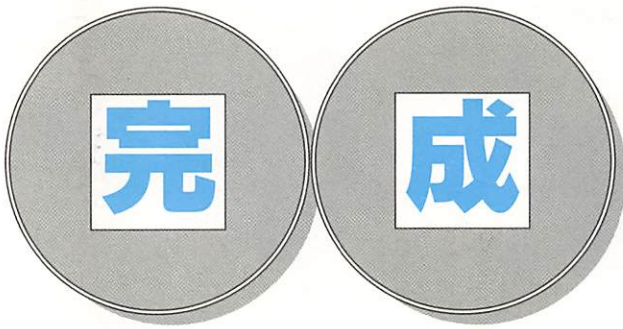
（六年九月号）

（六年九月号）

（六年九月号）

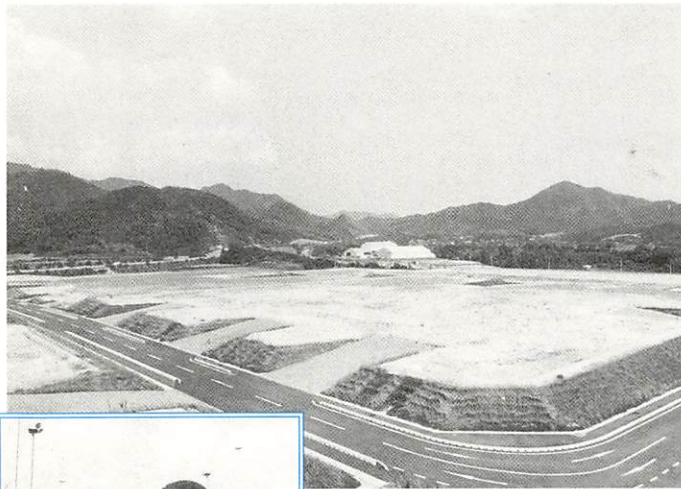
（六年九月号）

自然 産業 交通



北工区分譲開始

鑄銭司団地は、加工組立型や流通業務型の企業を誘致するため、地域振興整備公団、県、市が整備を進めていた産業団地です。9月6日、この団地の全区画が完成し、分譲を開始します。山陽自動車道の山口南インターチェンジが近くにあり、交通の利便に恵まれていることから企業立地の進展が期待されます。



山陽自動車道
山口南インターチェンジ

平成四年から開発を進めていました鑄銭司団地が完成し、九月六日から北工区(二十五区画、一五・五九ヘクタール)の分譲が開始されます。これにより、団地のすべての区画が売り出されることとなりました。

この団地は、テクノポリス開発計画において、山口開発区の生産機能および流通機能の拠点として位置づけられ、地域振興整備公団、県、市が一体となって開発整備を進めてきました。国道2号線、山陽自動車道山口南インターチェンジが近いなど優れた立地条件を生かした加工組立型・流通業務型の業種を中心とする多様な機能を持つ産業団地です。

昨年の九月に、第一期分譲として売り出した南工区(十一区画、三・七五ヘクタール)には、現在、四区画に三社の立地が決定し、うち一社が操業を開始。
市では、この団地の完成による雇用の拡大、人口の定住促進、地域経済の活性化を図るため、企業の誘致に積極的に取り組んでいます。



鑄銭司団地の概要

開発面積

一九・七八ヘクタール

分譲面積

一九・三四ヘクタール

※テクノポリス開発計画

宇部市を中心とする四市四

町(宇部市、山口市、美祿市、

小野田市、小郡町、阿知須町、

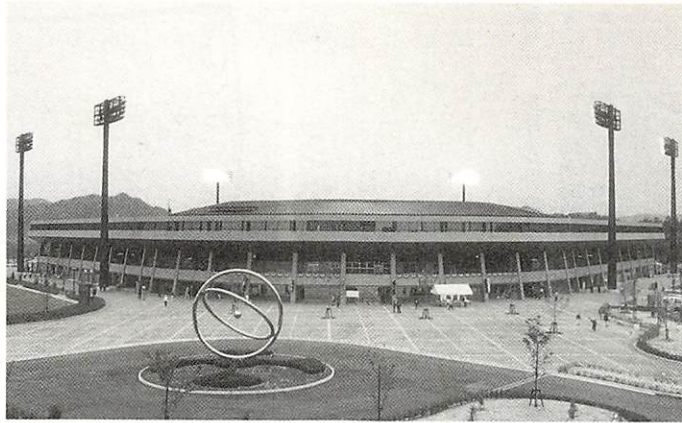
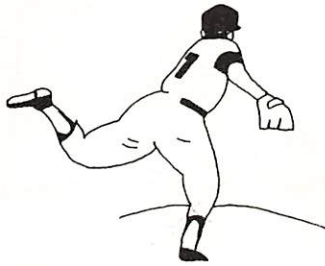
山陽町、楠町)を圏域として、

工業構造の高度化、中核都市

の形成、人口定住などの課題

を解決し、県経済の自立・活

性を図るプロジェクトです。



西京スタジアム竣工記念 天皇賜杯 第50回記念 全日本軟式野球大会 9月8日～13日

- 期日 9月8日(金)～13日(水)
- 会場 山口市(山口市スポーツの森西京スタジアム、山口市民球場)をはじめ、防府市・新南陽市・徳山市・美祢市・宇部市・小野田市・萩市の8市10球場
- 出場チーム 60チーム〔47都道府県代表(北海道、東京、愛知は2チーム)、昨年優勝の群馬県・JT高崎、山口県から推薦出場の9チーム〕
- 主催 財団法人全日本軟式野球連盟
スポーツニッポン新聞社
- 共催 山口県・山口県教育委員会・開催8市・8市教育委員会
- スケジュール
 - ☆開会式 日時 9月8日(金)午後3時～
 - 場所 西京スタジアム
 - ☆競技(山口市会場のみ掲載)
 - 第1日 9月9日(土)
 - 【西京スタジアム】
 - 午前8時から・午前10時20分から・午後零時40分からの3試合
 - 【山口市民球場】
 - 午前8時から・午前10時20分から・午後零時40分からの3試合
 - 第2日 9月10日(日)
 - 【西京スタジアム】
 - 午前8時から・午前10時20分から・午後1時10分からの3試合
 - 第3日 9月11日(月)
 - 【西京スタジアム】
 - 午前9時から・午前11時20分からの2試合
 - 【山口市民球場】
 - 午前9時から・午前11時20分からの2試合
 - 第4日 9月12日(火)
 - 【西京スタジアム】
 - 午前9時から・午前11時20分からの2試合(準決勝)
 - 第5日 9月13日(水)
 - 【西京スタジアム】
 - 午前9時からの1試合(決勝)
 - ※競技終了後、閉会式があります。

山口県からの出場は十チーム
 出場チームは、四十七都道府県代表などの六十チーム。山口県からは、県代表のメ

ツツ光をはじめ、推薦出場の九チーム(山口県社会保険診療報酬支払基金、防府市役所、武田薬品工業 株 光工場、株シマヤ、中電ブルーサンダース、三井金属彦島、協和発酵宇部、西部石油株)山口製油

「私たちの最大の目標だった天皇賜杯全日本軟式野球大会に出場できるのは、とても光栄です。それも五十回目の記念大会で、戦後五十年という節目の年に出場できるなんて名誉あることです」
 「私たちのチームは現在、部員が十九人。

軟式野球は、テニスボールなどによって子供たちが楽しんできた野球をもとに、ボールに改良を重ねるなどして誕生した日本独特の野球です。
 少年野球の普及とともに、一般大衆スポーツとして発展してきました。
 総戦の翌年には、第一回全日本軟式野球大会が開かれ、今年が五十回目の記念大会です。
 この記念大会が、九月八日から十三日までの間、「山口市スポーツの森西京スタジアム」を主会場に開催されます。
 八日に行われる開会式には、高田宮様ご夫妻をお迎えします。

所、セントラル硝子(株)宇部工場、合計十チームが出場します。
 このうち、市内からの出場チームは、山口県社会保険診療報酬支払基金、同チームの柴田泰浩監督、山本貴彦助監督、重村寿之キヤプテンの三人にお話を伺いました。



左から、柴田泰浩監督、重村寿之キャプテン、山本貴彦助監督

事務所の協力のもと、趣味として、また、スポーツマン精神を身に付けるため、がんばっています」
 「西京スタジアムで試合をできるのが楽しみ。せっかく地元で開催されるのだから、一勝はしたいですね。ぜひ、皆さんに応援していただきたい」と元気に語られました。

第32回 市民体育大会

スポーツに親しみ 交流を広げよう

第32回市民体育大会が、9月3日(日)、維新百年記念公園を主会場に行われます。競技に参加したり、熱戦を応援したりして、地域の交流の輪を広げましょう。

- ★期日 9月3日(日)
- ★開会式 午前8時45分
- ★競技開始 午前10時
- ※雨天の場合は、バレーボール、卓球、柔道のみ実施(陸上、ソフトボール、サッカーは中止)
- ★参加区分 地区対抗の部、スポーツ少年団の部

地区対抗の部

競技種目と会場は、次のとおりです。

陸上競技



- 会場 維新公園陸上競技場
- 【男子の部】(8種目)
 - 29歳以下 百メートル走
 - 30歳〜39歳 百メートル走
 - 40歳〜49歳 百メートル走
 - 50歳以上 六十メートル走
 - 年齢制限なし 百メートル
 - 百足競走(団体、5人、六十メートル逆走、三千メートル走)
- 年齢別 四百メートルリレー
 - 1 (29歳以下2人、30歳以上1人、40歳以上1人。順番についてはフリー)
- 【女子の部】(5種目)
 - 29歳以下 百メートル走
 - 30歳以上 六十メートル走
 - 年齢制限なし 百メートル
 - 百足競走(団体、5人、六十メートル逆走)

鴻南中学校グラウンド

○男子、トーナメント戦、試合は7回までとし、70分を超えて新しいイニングに入らない。

○チーム編成は、監督を含めて20人以内の登録。試合に出場している選手9人の年齢合計が、常に330歳以上のこと。



バレーボール



- 会場 県スポーツ文化センターアリーナ
- 女子、トーナメント戦、試合は3セットマッチ
- チーム編成は、29歳以下4人、30歳代4人、40歳以上1人。登録は、監督1人、コーチ1人、マネージャー1人、選手15人以内。

卓球

- 会場 県スポーツ文化センターレクチャールーム
- 予選リーグ・決勝トーナメントを行います。
- チーム編成は、男子年齢制



限なし1人、男子39歳以下1人、40歳以上1人、50歳以上1人、女子年齢制限なし2人。登録は、監督1人、選手男子7人、女子4人以内。

○試合は、50歳以上男子シングルス、女子シングルス、男女混合ダブルス、40歳以上男子シングルス、39歳以下男子シングルの順。

スポーツ少年団の部

会場は、次のとおりです。
(競技内容は開催要項による)

陸上競技

- 会場 維新公園陸上競技場

サッカー

- 会場 維新公園第二球技場
- (女子) 榎野川運動公園
- (男子)

柔道

- 会場 県スポーツ文化センター武道館

バレーボール

- 会場 湯田小体育館・サンフレッシュ山口体育室

「宿命の詩人 中原中也 ~詩とその風景~」をハイビジョンの鮮明な画面でご覧ください



このたび山口市がハイビジョン用に制作した「宿命の詩人 中原中也」は、「帰郷」「悲しき朝」「冬の長門峡」などの中也の代表的な詩と、中也ゆかりの地である山口、京都、東京、鎌倉にロケした美しい風景で綴った作品です。
(上映時間14分26秒)

次のハイビジョン施設で放映しますのでご覧ください。

- ・山口市役所市民ホール 10時、10時半、11時、11時半、12時、12時半 (9月1日から年内、閉庁時除く)
- ・山口南総合センター 10時から13時の間に3回程度放映
- ・ニューメディアプラザ山口 イベントホールにおいても適宜放映しています。

この作品をビデオ化したものを、各公民館、学校教育課へ配布したほか、地域開発課では貸し出しも行っています。ぜひご利用ください。

また、山口ケーブルビジョンのコミュニティチャンネル(12チャンネル)で9月11日から17日の間、毎日20時半から放映いたします。

ハイビジョンとは、現行テレビに比べ、走査線が二倍以上、画素(画面を分解した単位)数が五倍以上で、ワイドでキメ細かい画面です。映画制作や医療分野のシミュレーション、美術品映像等の保存など様々な分野での応用も可能となり、二十一世紀のテレビといわれています。山口市は、平成元年、郵政省のハイビジョン・シティ構想モデル都市の指定を受けています。

第5回 市民大学講座

市では、8月30日から5回にわたって「第5回山口市民大学講座」を開催していますが、まだ、聴講券の残りがあります。ぜひ、ご聴講ください。

■期日・講師

第2回 9月11日(月)

ハドソン研究所首席研究員
日高義樹

第3回 9月18日(月)

スポーツキャスター
長田渚左

第4回 9月27日(水)

作家 林 真理子

第5回 10月6日(金)

詩人・作家 ねじめ正一

■会場 市民会館大ホール

■開演 いずれも午後6時30分

■聴講券 2,000円(通し券)

■聴講券発売所 市教育委員会文化課、生涯学習課、各公民館、市民会館、山口南総合センター、C・S赤れんが、山口ふるさと伝承総合センター、山口ふれあい館、サンフレッシュ山口、市役所受付

※問い合わせ 市教育委員会文化課(☎20-4111)へ

西洋音楽発祥の地 山口世界音楽祭 ドイツ

10月12日～22日

プログラム

①10月12日(木) 18:30～20:30

鮫島有美子ソプラノリサイタル

②10月15日(日) 18:30～20:30

有田正広、有田千代子、平尾雅子トリオコンサート

③10月16日(月) 18:30～20:30

佐藤豊彦リユートリサイタル

④10月19日(木) 18:30～20:30

サイラー・エルンスト、和子ピアノデュオコンサート

⑤10月21日(土) 18:30～20:30

一の坂川クワルテットコンサート

⑥10月22日(日) 19:00～21:00

ドイツ・バッハゾリステン

○場所 ①山口県教育会館 ②③⑤C・S赤れんが

④山口南総合センター ⑥山口市民会館

○入場料 ①②③⑤前売3,000円、当日3,500円 ④前売3,000円・親子券4,000円、当日3,500円・親子券4,500円 ⑥前売4,000円、当日4,500円 総合入場券(全プログラムの入場券)15,000円

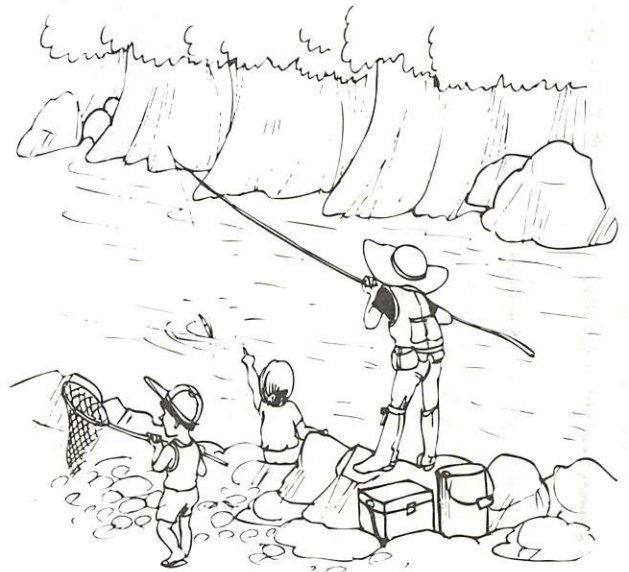
○チケット取扱場所 山口十字堂楽器店、三好屋楽器店、三好屋レコード電器部、OK無線AVセンター、山口市民会館、山口南総合センター、道の駅「あさひ」、パレット、C・S赤れんが、リントヴルム

※問い合わせ C・S赤れんが(28-6666)

今年で三回目を迎える「山口世界音楽祭」。十月十二日から二十二日の間、C・S赤れんがなど四会場で開催されます。山口世界音楽祭は、サビエルが大内義隆へ贈った物の中の楽器が、西洋楽器の日本への最初の伝来といわれている

ことや、山口の教会大道寺で最初の歌ミサがあげられたことから、山口市を西洋音楽発祥の地として、平成五年から始められたものです。今回のテーマは、スペイン・日本に続き、「ドイツ」。バッハのバロック音楽の演奏などが行われます。

ふしの川漁協まつり



昨年のふしの川漁協まつり

椹野川の清らかな水の流れと豊かな緑は、水資源としてだけでなく、多くの恩恵をもたらしてくれ、私たちに与えてくれているかけがえのない財産です。憩いの場でもある椹野川が、いつまでも潤いのある河川環境であるよう、椹野川漁業協同組合が中心となって「ふしの川漁協まつり」を開催します。

会場では、アユのつかみどり大会や水産物・農産物の即売会など、楽しい催し物を用意しています。(参加料は無料) 家族そろって参加して、ふるさとにもっと親しんでみてはいかがでしょうか。

催し物

☆椹野川に生息する魚介類の霊の供養(随時お参りしてください)

☆アユのつかみどり(団体戦、個人戦)

☆魚食コーナー

☆アユ雑炊コーナー

☆天然焼きアユコーナー(天然と養殖の味比べ)

☆水産物・農産物・お菓子などの即売

☆アユ・カニ・シジミ

☆水産加工品

☆野菜・果物等農産物

☆お菓子、その他

☆金魚すくい

☆その他

- 日時 9月10日(日) (雨天の場合 17日) 午前9時30分～午後3時
- 場所 椹野川漁協平川養魚池 (平川河川公園)
- 主催 椹野川漁業協同組合



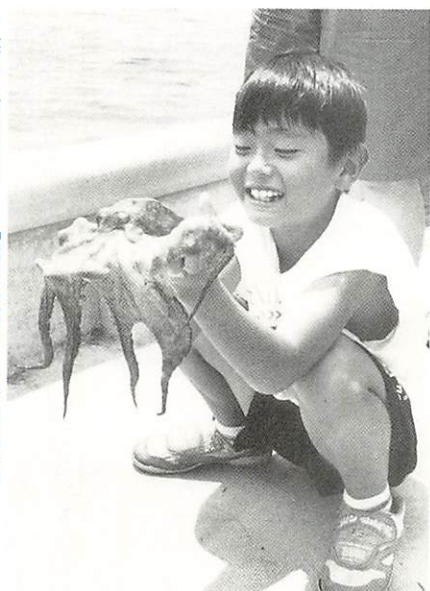
△守ってね、みんなの道路 道の日街頭啓発

8月10日の「道の日」にちなみ、ミス山口の大坂昌美さんが山口国道維持出張所の一日出張所長に。国道9号を阿東町までパトロールした後、米屋町アーケード街で、道路は使いやすく、安全に、美しくと呼びかけました。

▽炎天下の考古学ファン
豎小路の「大内氏関連町並遺跡」で、八月五日、熱心な市民約五十人が集まって現地説明会が行われました。
この遺跡は大内氏館の周囲に広がっていた、家来の屋敷、商人・職人の家などの跡で、室町を経て現代にいたるまで、人々が生活し続けてきたことがわかり、また、古く弥生時代にも人が暮らしていた跡がみられます。
井戸や、館等での宴会に出したと思われる土器の皿などが出土しています。



▽海は生きてた! 「海は生きてる体験漁業」
グニャグニャのタコにビックリ。八月五日、山口漁業協同組合と市の主催により「海は生きてる体験漁業」が行われました。参加した子どもたちは、地引き網、魚釣り、定置網漁などを体験。夏まつ盛りの秋穂二島、青い海と笑顔が輝いていました。



△実りの夏 名田島早期米

入道雲のわきたつ8月19日、今年一番の稲の刈り入れが名田島で行われました。コンバインを走らせる福光さんは「新米を待っている人もいます」と額に汗。早期米は、台風シーズンの前に収穫できることがメリットとのこと。後には野菜を植えられるそうです。

家庭教育講座 「子どもだてマナビイ」

- 日時 10月3日(火) 午前10時～11時30分
- 場所 大殿公民館視聴覚室
- 内容 「今の子どもたちに欠けているもの」今、親のなすべきこと」
- 講師 山口女子大学教授 坪郷康先生
- 対象 幼稚園児および小学生をもつ母親など
- 募集人員 30人(先着順)
- 受講料 無料
- 申し込み 9月11日～21日の間に市教育委員会生涯学習課(☎22-4111)へ
- ※託児を行います

市民講座・ワープロ

- 市では、初心者を対象に、パソコンを使ったワープロ講座を行います。
- 日時 9月25日(月)～29日(金)、午後7時～9時
- 場所 山口コンピュータ専門学校(富田原町2-23)
- 募集人員 30人(応募者多)
- 数の場合は抽選
- 受講料 1,000円(教材費を含む)
- 申し込み 往復はがきに住所・氏名・年齢・電話番号を記入し、9月18日(必着)までに地域開発課(亀山町2-11 ☎22-4111)へ

女性就業センター技術講習会

- 日時 10月3日～12月5日の毎週火・木・金曜日、午前9時30分～午後3時30分(全25回)
- 場所 サンフレッシュ山口(山口勤労者総合福祉センター/湯田温泉五丁目5-22)
- 対象 パソコン・ワープロの操作技術を習得して就業しようとする女性
- 募集人員 20人
- 受講料 無料(ただし教材は自己負担)
- 申し込み 9月14日までに、市商工観光課備え付けの申込書で直接同課へ
- 問い合わせ 県東部女性就業センター(☎083412816102)へ

3歳児健康診査

- 期日・対象地区 9月20日(水)
湯田・吉敷・平川・大歳 9月27日(水)大歳・白石・仁保・小鯖・大内・宮野
 - 受付時間 午後1時～2時
 - 場所 山口環境保健所(葵二丁目5-69)
 - 対象 平成4年9月生まれの幼児と過去未受診者
 - 料金 無料(受診者は母子健康手帳と事前に送付した健診票を持参してください)
 - 問い合わせ 山口環境保健所(☎22-5111)へ
- ※当日検尿がありますので、取りにくい方は取ってきて下さい

難病講演会

- 日時 9月28日(木)午後1時30分～4時
 - 場所 山口環境保健所2階講堂(葵二丁目5-69)
 - 演題 「潰瘍性大腸炎とクローン病の療養生活について」
 - 講師 のむら内科胃腸科医院院長 野村幸治先生
 - 対象者 潰瘍性大腸炎とクローン病の患者と家族
 - 申し込み 9月22日(金)までに、電話で山口環境保健所保健指導班(☎22-5111)へ
- ※個人相談を希望の方は、事前にご連絡ください

催し物とお知らせ

内蒙古からようこそ
中国残留婦人歓迎のつどい

- 日時 9月8日(金)午後1時30分～3時30分
- 場所 山口県婦人教育文化会館
- 内容 歓迎行事、講話など
- 参加費 無料

募集コーナー

文化バス
四国さぬき路を訪ねて

- 期日 9月17日(日)～18日(月)
- 行程 市民会館小ホール前・小郡駅(午前7時出発)～防府東IC～坂出IC～坂出神谷神社～栗林公園～屋島～塩江温泉(泊)～大窪寺～志度町志度寺～坂出IC～防府東IC～市民会館小ホール前・小郡駅(午後8時帰着)
- 募集人員 120人(先着順)
- 参加費 大人28,500円 子ども・身障者27,000円(宿泊・食事・入館料など含む)
- 講師 郷土史家 内田伸氏
- 申し込み 9月5日(火)午前8時から市交通局(☎22-2555)へ

山口の歴史と民俗講座

- 日時 10月4日から平成8年2月の毎月第1・3水曜日、午後1時30分～3時30分
- 場所 市歴史民俗資料館
- 講師 市文化課職員ほか
- 募集人員 35人(先着順)
- 受講料 無料(資料代は実費)
- 申し込み はがきに住所・氏名・年齢・電話番号を記入し、9月22日(金)までに市歴史民俗資料館(春日町5-1☎24-7001)へ

外国人のための「日本語講座」

- 日時 9月30日(土)からの毎週土曜日、午後2時30分～4時30分(全12回)
- 場所 山口大学国際交流会館1階
- 対象者 県内に在住、就労する外国人
- 受講料 無料
- 申し込み (財)山口県国際交流協会(神田町1-80/防長青年館内☎25-7353)へ

ふるさと伝承センター講座

パッチワーク教室(初級)

- 日時 10月4日～平成8年3月までの毎月第1・3水曜日、午前9時30分～11時30分(全10回)
 - 内容 パッチワークの基礎技法を学びながら、コースター・小銭入れ・巾着袋(和風&アメリカン)などを作ります
 - 講師 山部和子先生
 - 募集人員 20人(先着順)
 - 受講料 無料(教材費6,000円)
- 陶芸教室(初心者)**
- 期間 10月～平成8年3月
 - 集中指導日時(個別指導は随時)
A班:毎月第2週目の火・水曜日
B班:毎月第2週目の木・金曜日
午後1時～4時
 - ◆3か月に1回程度、当番制による窯詰め(月・午後1時～3時)窯たき(水・午前8時～午後5時)窯出し(金・午前9時30分～10時30分)の焼成実習を行います
 - 募集人員 各班20人(先着順)
 - 受講料 無料(教材費実費)
 - 場所(各講座とも) 山口ふるさと伝承総合センター(下堅小路12)
 - 申し込み 9月2日(土)から同センター(☎28-3333)へ

低学年のための
硬筆かきかた教室

- 期間 10月～平成8年3月
- 日時 **1年教室:**毎月第1・3水曜日
2年教室:毎月第2・4水曜日、午後3時30分～4時30分
- 場所 市児童文化センター
- 対象 市内の小学1・2年生
- 募集人員 各30人(先着順)
- 材料費 800円
- 申し込み 9月7日～14日(月曜休館)午前9時～午後5時の間に市児童文化センター(湯田温泉五丁目2-13☎22-4285)備え付けの申込書で直接同館へ

平成7年度秋季農作業標準賃金 山口市農業委員会

作業・機械等	単位	作業料金	備考
稲刈り等	バインダー	10a当	11,000円
	ハーベスター	10a当	12,600円
乾 燥	基本料金	1袋当	520円
	割増料金	1袋当	100円
糶 摺	1袋当	350円	
耕うん作業	10a当	12,600円	ほ場一枚の面積 5a未満一枚につき3,000円増し 5a以上10a未満一枚につき1,500円増し 30a以上一枚につき3,000円引き
		14,800円	5a未満一枚につき3,000円増し 5a以上10a未満一枚につき1,500円増し 30a以上一枚につき3,000円引き
賃 金	日 当	7,200円	玄米1袋(30kg) 水分17%以下で、乾燥調整・糶摺り、袋詰めまで
		8,200円	水分17.1%以上、1%増すごと
賃 金	時 給	2,700円	玄米1袋(30kg)
		2,700円	農繁期における米麦作農業賃金に限る 実働8時間
賃 金	時 給	2,700円	オペレーター賃金に限る

※件、左記の賃金は標準賃金のため、各地区に於いては、必要に応じて、適宜補正していただきます。また、左記の賃金は、標準賃金とは、事情などによって、食料費などによって、経費は含まれていません。

編集後記

▽本年も、昨年以上の残暑のきびしい年となりました。しかし九月になりますと、朝夕もしのぎやすくなり、虫の声も一段とにぎわしく季節の移りを感じさせます。

▽九月といえば、天高く、地上には実りの喜びがみち、健康と、スポーツと勉強のための好季節といえましょう。

▽本年は五年に一度の国勢調査の年です。九月の下旬から地区の調査員がお宅をお伺いして、調査票を配布します。市民の皆様の一層のご協力をお願いいたします。

健康コーナー

1歳6か月児健康診査

- 期日・対象地区 9月28日(木)
湯田・吉敷・平川・大歳 9月29日(金) 大殿・白石・仁保・小鯖・大内・宮野
- 受付時間 午後1時～2時
- 場所 市保健センター(糸米二丁目6-6)
- 対象 平成6年3月生まれの幼児
- 料金 無料(受診者は母子健康手帳と事前に送付した健診票を持参してください)
- 問い合わせ 市健康増進課(☎21-2666)へ

心の健康相談

- 期日 一般精神保健相談 9月7日(木) 老人精神保健相談 9月14日(木)
- 受付時間 午後1時～2時
- 場所 山口環境保健所(葵二丁目5-69)
- 申し込み 山口環境保健所精神保健班(☎22-5111)へ(予約制)

健康教育受講生募集

- 日時 9月22日(金) 午後1時30分～3時30分
- 場所 陶公民館
- 内容 「目の成人病について」
- 講師 小郡第一総合病院眼科 大西徹先生
- 受講料 無料
- 問い合わせ 市健康増進課(☎21-2666)へ

山口地区

痴呆性老人を支える家族の会

- 日時 9月12日(火) 午後1時30分～3時30分
- 場所 山口環境保健所(葵二丁目5-69)
- 内容 講話「痴呆の予防と治療について」、座談会
- 講師 仁保病院医師 甲斐周作先生
- 対象者 痴呆性老人を介護している方など
- 申し込み 山口環境保健所精神保健班(☎22-5111)へ(予約制)

無料胸部レントゲン検診 (結核検診・肺がん検診)

次のとおり、レントゲン検診車が巡回します。都合のよい場所で受診してください。対象者は15歳以上の市民(学校・職場などで定期検診を受ける人と妊婦は除く)です。

日	時間	場所
平川地区		
9月18日(月)	9:10～9:30	上平井 公会堂前
	9:50～10:10	古曾中原 古曾中原バス停横
	10:30～10:50	台 荒瀬フサエ宅前
	11:10～11:20	神郷 吉田屋食堂前
9月19日(火)	13:30～13:50	平井西 読売新聞販売所前
	14:10～14:30	中野 光永禎一宅横
	9:20～9:30	堂 紺山下武保宅前
	9:40～9:50	平野 藤本茂宅前
9月20日(水)	10:10～10:30	中村 公会堂前
	10:50～11:20	吉田団地 集会所横駐車場
	13:30～13:50	閩 公民館前
	14:10～14:30	平川 公民館
大殿地区		
9月20日(水)	9:10～10:00	金古曾町 サビエル公園前
	10:20～10:50	円政寺町 永福寺前
	11:00～11:20	古熊一丁目 大殿中学校
	13:30～14:10	堂の前町 しらさぎ会館
9月21日(木)	14:30～15:00	大殿大路 大殿公民館
	9:10～9:20	天花畑 公会堂前
	9:50～10:20	天花 俊龍寺駐車場
	10:40～11:10	香山町 レストラン五重駐車場
9月21日(木)	13:30～14:00	後河原 鴻城病院
	14:20～15:00	野田 野田神社

		湯田地区	
9月22日(金)	9:00～9:30	前町 秋葉神社前	
	9:50～10:20	湯田温泉一丁目 山口土木交友会館前	
	10:40～11:10	松美町 明道館前	
	13:30～14:00	三和町 ふしの会館前	
	14:20～14:40	緑町 熊野神社前	
9月25日(月)	15:00～15:30	湯田温泉二丁目 高野公園	
	9:00～9:20	朝倉町 井上惟宏宅前	
	9:40～10:00	錦町 西村商店前	
	10:20～10:40	朝倉町 福寿園	
	11:10～11:30	神田町 国広商店前	
9月26日(火)	13:30～14:00	赤妻町 戸成理容院前	
	14:20～14:40	湯田温泉六丁目 かも福社員寮前	
	15:00～15:30	湯田 公民館	
	白石地区		
	9月27日(水)	9:30～10:00	道場前二丁目 第一駐車場
10:20～10:40		駅通り二丁目 市営駐車場	
11:00～11:20		東山 K K白上水道横	
13:30～13:50		白石一丁目 西日本新聞社前駐車場	
14:10～14:30		亀山町 市役所正面玄関横	
9月27日(水)	9:00～9:20	旭通り一丁目 三宅商事駐車場	
	9:40～10:10	中央五丁目 NHK山口放送局裏	
	10:30～11:00	糸米一丁目 山口高校記念館前	
	13:30～13:50	白石一丁目 茶白山共同住宅内	
	14:10～14:30	市保健センター	

肺がん検診(かくたん検査)

- 対象 40歳以上の市民(特に①6か月以内に血の混じったたんの出た方②50歳以上でたばこを多く吸われる方)
- 料金 400円(70歳以上、生活保護および市民税非課税世帯の人は無料)

胃がん集団検診

- 期日・場所 9月7日(木)・8日(金) 二島公民館、11日(月) 山口南総合センター、12日(火)・13日(水) 鑄銭司公民館、14日(木) 陶公民館、19日(火) 佐山公民館、20日(水)・21日(木) 山口市農協嘉川支所
- 受付時間 申し込み時にお知らせ
- 対象者 40歳以上の市民
- 料金 700円
- ※70歳以上の方、生活保護、市民税非課税世帯(すべての世帯員が市民税を課税されていない場合)の方は無料
- 申し込み 市健康増進課(☎21-2666)へ
- ※当日は朝食、たばこ、水、茶、薬など一切口にしないでください

痴呆についての講演会および老年期の心の健康巡回相談会

- 日時 9月29日(金) 午後1時30分～3時30分
- 場所 嘉川公民館
- 内容 講演「痴呆の予防と早期発見について」講師：山口大学医学部附属病院精神科神経科医局長 古川祐一郎先生、ミニ講話「知っておくと便利な福祉制度」「痴呆に関する保健所事業について」、個別相談
- 相談担当者 精神科医師、市高齢障害課老人担当職員、山口環境保健所保健婦
- 問い合わせ 山口環境保健所精神保健班(☎22-5111)へ
- ※個人相談を希望の方は、事前にご連絡ください

9月の休日当番医	外科系	内科系	外科系	内科系
3	淵上整形外科 山口22-6644	おごし医院 山口22-9777	三隅外科 小郡72-1003	池田医院 小郡72-1002
10	丘病院 山口25-1100	原田内科胃腸科 山口23-2344	小林外科 小郡73-1515	林病院 小郡72-0411
15	池畑整形外科 山口25-7766	あんの循環器内科 山口24-1151	吉武医院 秋穂84-2330	田中内科 小郡72-2325
17	佐々木外科病院 山口23-8811	吉野内科 山口32-1222	林病院 小郡72-0411	岡医院 小郡73-4477
23	林外科 山口22-0139	尼崎内科 山口22-1771	共立病院 宇部65-2200	柳沢医院 小郡73-3121
24	柴田病院 山口27-2800	のむら内科胃腸科 山口28-7878	嘉村外科 小郡72-2513	岩崎クリニック 小郡73-0637

診療時間：午前8時30分～午後5時30分

診療時間：午前9時～午後6時

■休日夜間急病診療所(糸米二丁目6-6 ☎25-2266) <内科・小児科> 毎日午後7時～10時 <外科> 土曜・日曜・祝日、年末年始、8月15日午後7時～10時 <歯科> 日曜・祝日、年末年始、8月14日～16日午前9時～午後1時 ■休日当番医テレホンサービス ☎23-5000

吉南医師会 土曜夜間在宅当番医 診療時間19時～22時	9月2日	9月9日	9月16日	9月30日
内科系	利重クリニック 山口89-2515	たむら医院 山口89-4480	藤井医院 山口87-2002	小野医院 秋穂84-2353
外科系	小林外科 小郡73-1515	同仁病院 宇部65-2130	同仁病院 宇部65-2130	相川医院 山口86-2177

■市外局番 小郡：0839 宇部：0836 秋穂：0839

■平日夜間の在宅当番医の問い合わせは ☎22-1470(消防本部)へ